

# 特別活動

子供たちが上手に  
話し合えるようになる！

## 実践用教材集



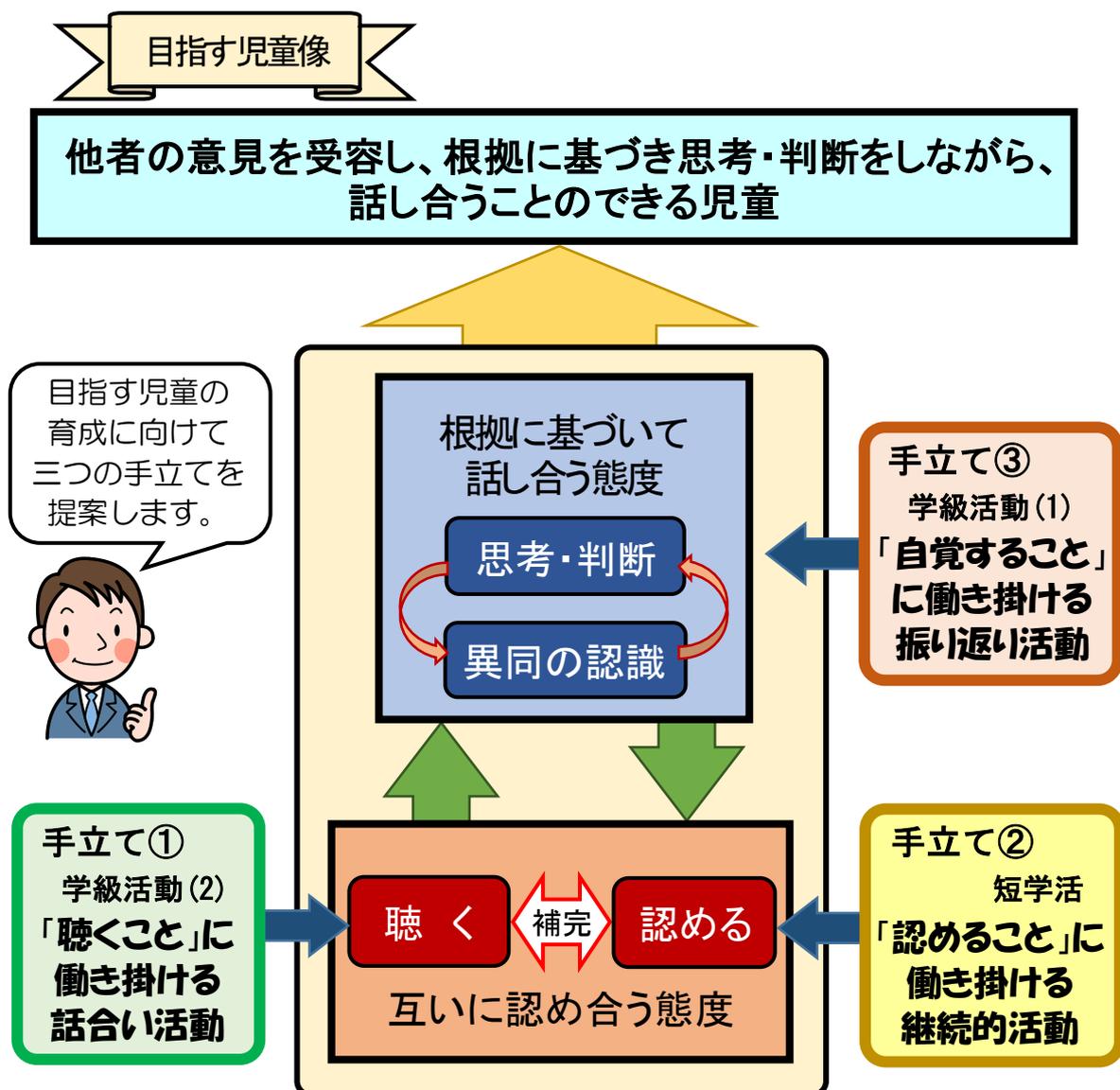
# これから実践を行う

## みなさんへ

「学級活動において、よりよい話し合い活動を行える子供たちにしたい」と、誰もが考えるのではないのでしょうか。では、学級活動において、よりよい話し合い活動を行えるようになるには、どのような状態で、どのような手立てを講じればよいでしょう。

それを示したのが下の図です。本資料では、よりよい話し合い活動を行える子供を、「他者の意見を受容し、根拠に基づき思考・判断をしながら、話し合うことのできる児童」としました。そして、三つの手立てを提案しています。この手立てを行うことによって、子供たちに根拠に基づいて話し合う態度と互いに認め合う態度を育み、目指す児童像へと迫ることができると思います。

よりよい話し合い活動のできる子供たちの育成に向け、本資料をご活用いただければ幸いです。

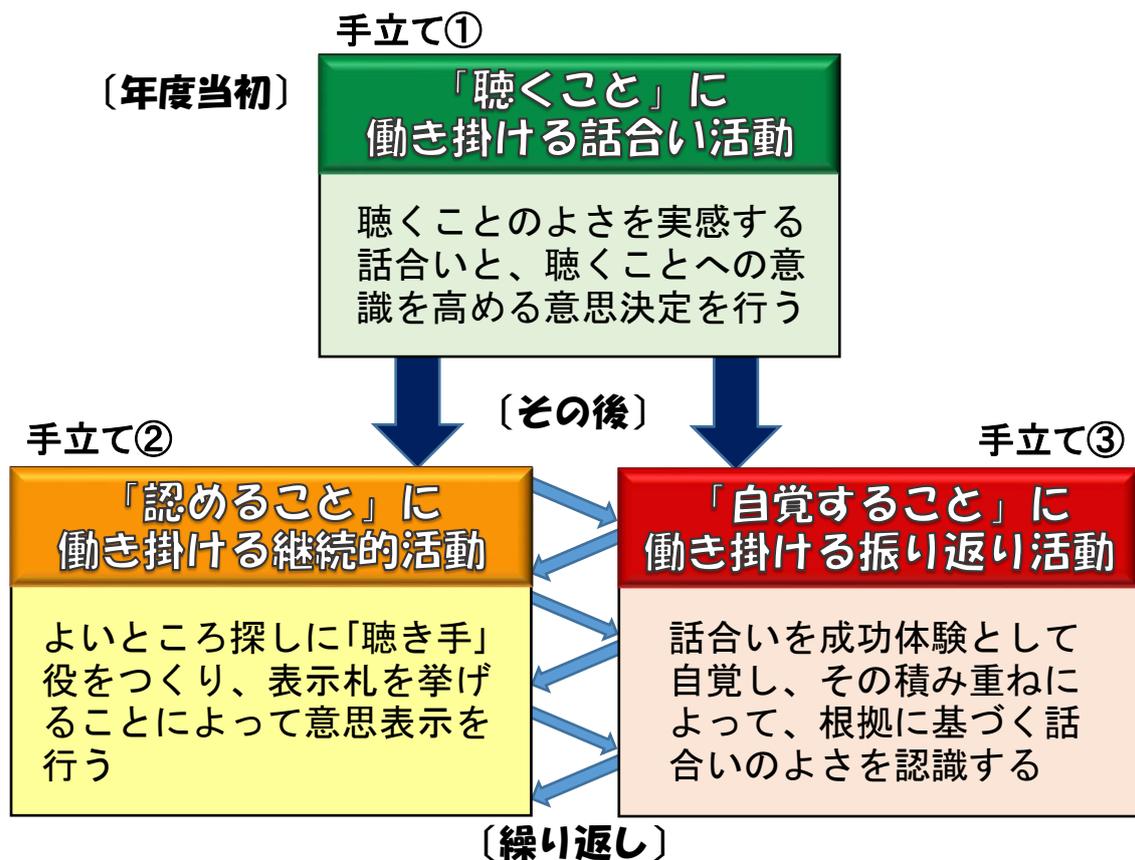


# 実践の流れを

# 確認しましょう

三つの手立てを行うことで、子供たちは友達を認める態度を身に付けることができます。そして、話し合い活動では、友達の意見を大切にして、根拠に基づいて判断するようになります。三つの手立ては、それぞれの手立てをどのような順序で行うと効果的であるかを考え、時系列に並べ示してあります。

まず、「聴くこと」に働き掛ける活動を行いましょう。その後、「認めること」に働き掛ける活動と「自覚すること」に働き掛ける活動を、繰り返し行いましょう。このことによって、話し合い活動は充実していくことになります。



次のページからは、それぞれの手立てについて、詳しく見ていきましょう。



手立て①

# 「聴くこと」に 働き掛ける話合い活動

よりよい話合い活動を行うためには、お互いに認め合う態度を育むことが大切です。そのためには、友達の話に耳を傾けることが大切です。では、友達の話に耳を傾けられるようにするためには、どのような働き掛けをするとよいでしょう。

友達の話に耳を傾けられるようにするためには、聴くことへの意識を高める必要があります。子供たちの聴くことへの意識を高めるために、聴くことの大切さやよさを実感できる話合い活動を取り入れましょう。

この手立てを取り入れるためには、活動の進め方を知り、教材などを準備する必要があります。こうして、実践に向けて必要となる資料が、まるごと用意してあります。

早速、次のページを見てみましょう。

この活動には、次のよさがあります。



## よさ1 一生懸命聴こうとする！

周りの子からヒントを聴かないと答えが分からないスリーヒントクイズを行うことで、一生懸命聴こうとするようになります。

## よさ2 聴くことのよさに気付く！

自分の失敗経験を基にしながら、話を聴くことのよさについてみんなで話し合うから、聴くことのよさに気付くことができます。

## よさ3 聴くことへの意識が高まる！

聴くことのよさを踏まえて、自分の行動目標を決めるから聴くことへの意識が高まります。

手立て①  
「聴くこと」

# 教材の使い方

|             | 教材名                                  | いつ使う？ | どのように使う？   | 用紙サイズ   |
|-------------|--------------------------------------|-------|--|---------|
| 進<br>め<br>方 | 学級活動(2)の<br>進め方<br><br>5・6ページ        | 事 前   | 学級活動(2)をどのように行うかが<br>分かります。<br>事前に活動の流れや使用教材を確<br>認しておきましょう。                   | A 4     |
|             | 事前アンケート用紙<br><br>7ページ                | 事 前   | 事前に配付して記入させます。<br>失敗経験のあり・なしは、人数や<br>割合を円グラフにして、導入で使<br>うとよいでしょう。              | A 4 半分  |
| 教<br>材      | スリーヒントクイズ<br>説明用紙<br>8ページ            | 本 時   | 大きめに印刷し、黒板に掲示して<br>使います。   | A 3かA 2 |
|             | スリーヒントクイズ<br>例題①～③<br><br>9・10・11ページ | 本 時   | 印刷した後、児童配付用の部分を<br>切り分け、各グループに配付して<br>使います。<br>※ヒントは各グループに見せた後<br>回収するとよいでしょう。 | A 4     |
|             | 黒板掲示用<br>補助資料①～③<br><br>12・13・14ページ  | 本 時   | 本時の展開において、聴くことの<br>よさについて意見を出させる際、<br>児童の経験を思い起こさせるため<br>に使う補助資料です。            | A 3     |
|             | 振り返りシート<br><br>15ページ                 | 本時 終末 | 本時の振り返りとして使います。  | A 4 半分  |

# 学級活動(2)、どうやるの？

ここでは、聴くことへの意識を高めるために、学級活動の時間において、聴くことの大切さやよさを実感できる活動を設定し、実践を行います。

## 1 題材 「聴くことのよさ」 学級活動(2) イ 基本的な生活習慣の形成

### 2 本時の展開

#### (1) ねらい

聴くことの大切さやよさを実感する話合いと行動目標の意思決定を行う活動を通して、人の話を真剣に聴くことへの意識を高め、事後の活動に生かそうとする意欲を持つ。

#### (2) 準備

事前アンケートの結果、スリーヒントクイズの掲示説明用プリント、ヒントカード(スリーヒントクイズ用)、場面カード

#### (3) 展開

| 学習活動・予想される児童の反応  | 時間  | ○指導上の留意点及び支援 ◇評価   |
|--|-----|--|
| 1 事前アンケートの結果について意見を出し合い、本時のめあてをつかむ。<br>・話を聴かずに失敗した人は、けっこういるんだな。<br>・話を聴かないと自分のやることが分からなくなることもあるんだな。  | 5分  | ○学級の実態を把握できるように、アンケートの結果を図にして掲示する。<br>○話を聴くことの大切さを意識できるように、話を聴かずに失敗した経験について問い掛ける。  |
| めあて 話をきくことのよさに気づき、きくときに心がけることを決めよう。  |     |  |
| 2 小グループでスリーヒントクイズを行い、話を聴くことの大切さについて意見を出し合う。<br>・ヒント一つでは答えが分からないな。<br>・他のヒントを聴けば答えが分かるかもしれない。<br>・他の人のヒントをしっかり聴いてみる必要があるな。<br>・他の人に聴いたヒントを集めたら答えが分かったぞ。 | 35分 | ○話を聴くことの大切さを実感できるよう、以下の手順でスリーヒントクイズを行う。児童用の説明とクイズの内容については教材②～⑤参照。<br>①小グループにそれぞれ異なる情報が書かれたヒントカードを渡す。<br>②学級内を自由に移動しながら他の情報を集めるために他グループの児童に話を聴きに行く。<br>③制限時間内に他のヒントを集め、そこから導き出される答えを個別に考える。<br>④教師の合図で一斉に答えを発表する。<br>○最初のヒントカードを渡した段階で、答えが分かるか全体に問い掛ける。<br>○話を聴くことに重点を置くために、ヒントは口頭のみ伝えさせる。<br>○聴くことの大切さを理解できるよう、答えを確認した後、クイズを通して気付いたことを発表させる。そのため、一つのヒントでは答えが分からないが、三つのヒントを集めると答えが分かるようなクイズを出題する。 |

|   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ「きく」でも、自分の行動が全然違うんだな。</li> <li>・しっかり聴くためには、自分で注意しなければならんだな。</li> </ul> <p>3 自らの経験を基に、話を聴くことのよさについて意見を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人の話を聴くと、自分の知らなかったことを知ることができたよ。</li> <li>・自分だけじゃ考え付かなかったことが、話を聴くことで考えられるようになったよ。</li> <li>・人の話を聴くことって大切なんだな。</li> </ul> | <p>○「聴く」ことへの意識を高めるために、板書を通して「聞く」と「聴く」の説明を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「聞く」と「聴く」のちがいは</p> <p>聞く：音を耳で感じ取る、自然に耳に入ってくる</p> <p>聴く：注意深く耳を傾ける、内容を理解しようと思って進んで聞く</p> </div> <p>○話を聴くことのよさへと意識を向けるために、聴くことのよさとは何か発問する。その際、児童の経験を思い起こさせるために、必要に応じて次の三つの資料（場面カード）を提示する（教材⑥～⑧）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の知らないことを知ることができた経験を喚起する資料。</li> <li>・相手のことを知ることができた経験を喚起する資料。</li> <li>・自分の考えを深められた経験を喚起する資料。</li> </ul> <p>○意見が出たら、他の児童に同様の経験がないか問い掛ける。</p> <p>○次の三つを中心に話を聴くことのよさをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の知らないことを知ることができる。</li> <li>・相手のことを知ることができる。</li> <li>・自分の考えを深めることができる。</li> </ul> |
| <p>4 話を聴くことのよさを踏まえて、個人の行動目標を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の知識を増やせるように、多くの人の話を聴くようにしたい。</li> <li>・ただ話を聞くだけでなく、大事なことを落とさないよう集中して聴く。</li> <li>・物事を考える時には、他の人の意見もしっかり聴いてみる。</li> </ul>   | <p style="text-align: center;">5<br/>分</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◇評価項目</p> <p>大事なことを落とさない、他の人の意見を聴くなど、話を聴くことを意識することに向けた具体的な行動目標を記述している。</p> <p style="text-align: right;"><b>【思考・判断・実践】</b></p> </div> <p>○本時のめあてを意識して振り返ることができるように、板書で学んだことを確認する。</p> <p>○本時の学習内容を今後の話し合い活動でも生かしていけるように、個人の行動目標を決めさせる。</p>   |

(4) 板書計画

○/△ 話をきくこと

めあて 話をきくことのよさに気づき、きくときに心がけることを決めよう

人の話をきかずに失敗したことはありますか。



どんな失敗ですか？

- ・話をきかずにおこられた
- ・話の内容がわからなかった
- ・次の作業ができなかった

①スリーヒントクイズ

クイズの説明

「聞く」と「聴く」のちがいは

聞く：音を耳で感じ取る、自然に耳に入ってくる

聴く：注意深く耳を傾ける、内容を理解しようと思って進んで聞く

②話を聴くことのよさは何だろう

資料1

資料2

資料3

まとめ

- ・自分の知らないことを知る
- ・相手のことを知る
- ・自分の考えが深まる

## 学級活動アンケート

年 番 名前

話をきくことについて、次の質問に教えてください。

1. 人の話をきかずに失敗したことはありますか。 【 ある ない 】

→【ある】と答えた人は、どのような失敗をしましたか。

2. 話をきくことのよさは、どのようなことだと思いますか。

## 学級活動アンケート

年 番 名前

話をきくことについて、次の質問に教えてください。

1. 人の話をきかずに失敗したことはありますか。 【 ある ない 】

→【ある】と答えた人は、どのような失敗をしましたか。

2. 話をきくことのよさは、どのようなことだと思いますか。

# スリーヒントクイズ



～ヒントを集めて答えを考えよう～

## 【ルール】

- ① 自分のグループに配られたヒントを見る
- ② ヒントを集めるために、  
他のグループのヒントをききにいく
- ③ 集めたヒントから答えを考える  
※答えは個人で考えよう
- ④ 先生の合図で一斉に答えを発表する

## 【注意すること】

- 見ることができるのは自分のグループのヒントのみ
- 話すことができるのは自分のグループのヒントのみ
- ヒントはすべて  
話すことときくことでしか伝え合うことはできない
- ◇ 相手のもっているヒントをしっかりきくこと
- ◇ 自分のグループのヒントはしっかり伝えてあげること

# スリートヒントクイズ その1

|      |                              |
|------|------------------------------|
| 答 え  | チョーク                         |
| ヒント① | 白いものを使うことが多いですが、いろいろな色があります。 |
| ヒント② | はじめは細長いですが、だんだん短くなります。       |
| ヒント③ | 授業中に活躍する姿を、みんなが見ています。        |

以下、児童配付用 ..... で切り取って使います

【ヒント】 白いものを使うことが多いですが、  
いろいろな色があります。

ヒント①

【ヒント】 白いものを使うことが多いですが、  
いろいろな色があります。

ヒント①

【ヒント】 はじめは細長いですが、  
だんだん短くなります。

ヒント②

【ヒント】 はじめは細長いですが、  
だんだん短くなります。

ヒント②

【ヒント】 授業中に活躍する姿を、  
みんなが見ています。

ヒント③

【ヒント】 授業中に活躍する姿を、  
みんなが見ています。

ヒント③

# スリートヒントクイズ その2

|      |                            |
|------|----------------------------|
| 答 え  | はちまき                       |
| ヒント① | 細長くて、いろいろな色があります。          |
| ヒント② | ふわふわした感じではないですが、やわらかいものです。 |
| ヒント③ | 運動会で使うことが多いです。             |

以下、児童配付用 ..... で切り取って使います

【ヒント】細長くて、  
いろいろな色があります。

ヒント①

【ヒント】細長くて、  
いろいろな色があります。

ヒント①

【ヒント】ふわふわした感じではないですが、  
やわらかいものです。

ヒント②

【ヒント】ふわふわした感じではないですが、  
やわらかいものです。

ヒント②

【ヒント】運動会で  
使うことが多いです。

ヒント③

【ヒント】運動会で  
使うことが多いです。

ヒント③

# スリートヒントクイズ その3

| 答 え  | 新聞紙            |
|------|----------------|
| ヒント① | ニュースや天気がわかります。 |
| ヒント② | 四角い形をしています。    |
| ヒント③ | 電気や電池は使いません。   |

以下、児童配付用 ..... で切り取って使います

【ヒント】 ニュースや天気が  
わかります。

ヒント①

【ヒント】 ニュースや天気が  
わかります。

ヒント①

【ヒント】 四角い形をしています。

ヒント②

【ヒント】 四角い形をしています。

ヒント②

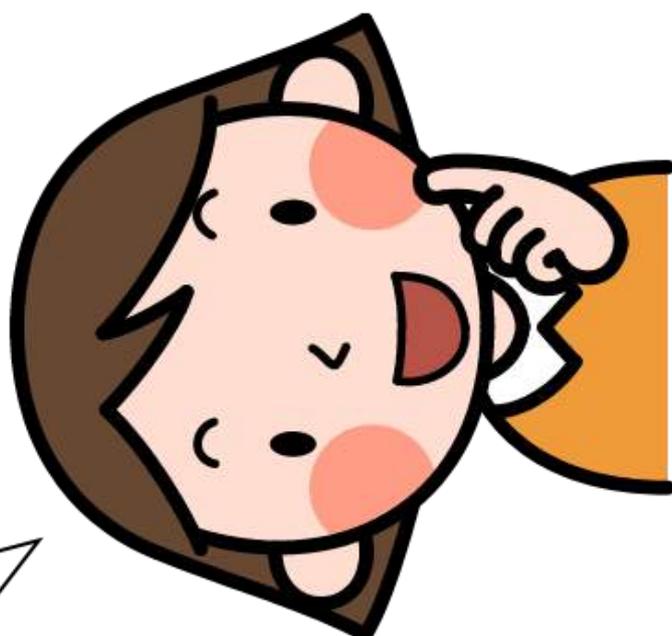
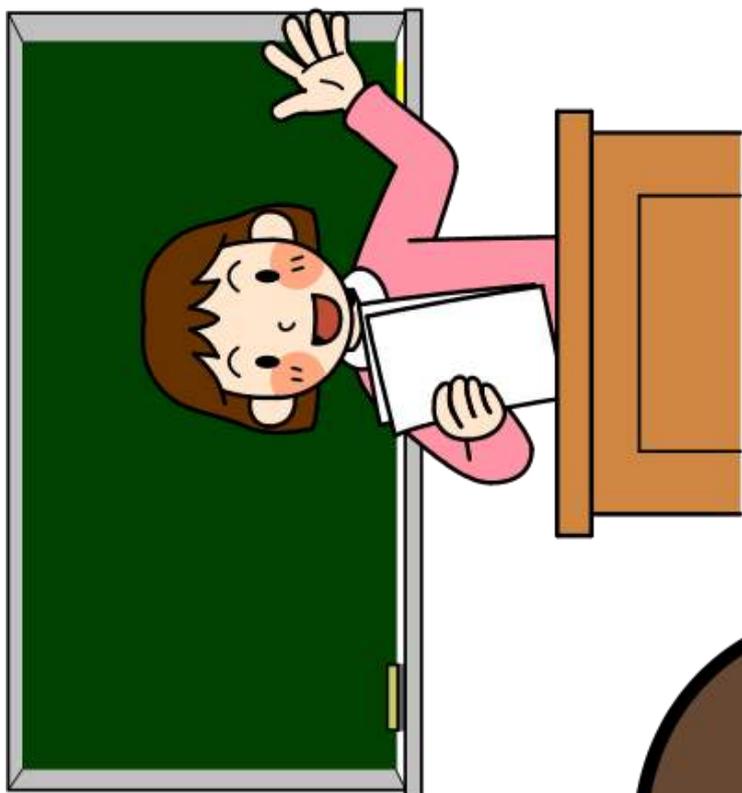
【ヒント】 電気や電池は使いません。

ヒント③

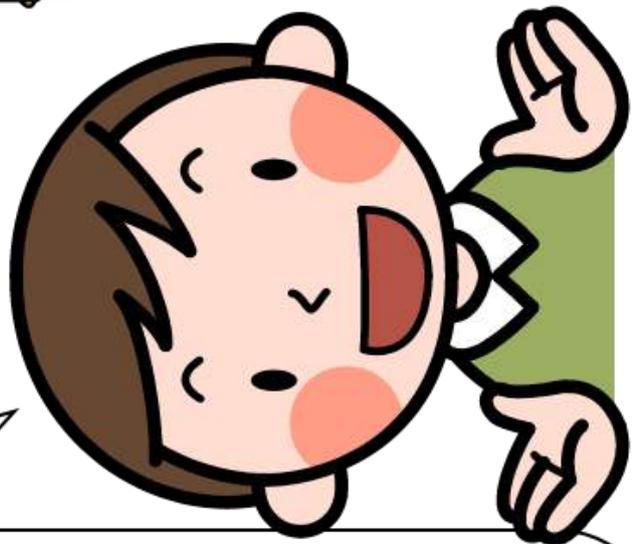
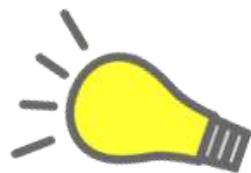
【ヒント】 電気や電池は使いません。

ヒント③





○○ちゃんも、  
動物も好き  
なんじゃない！



光にか、  
くも影、くも  
くも影、くも！

## 学級活動振り返りシート

\_\_\_\_月 \_\_\_\_日

\_\_\_\_年 \_\_\_\_番 \_\_\_\_名前

今日の活動を通して気付いたことや、これからがんばりたいことを書きましょう。

①「話をきくこと」について感じたことや考えたこと

②これからがんばりたいこと

## 学級活動振り返りシート

\_\_\_\_月 \_\_\_\_日

\_\_\_\_年 \_\_\_\_番 \_\_\_\_名前

今日の活動を通して気付いたことや、これからがんばりたいことを書きましょう。

①「話をきくこと」について感じたことや考えたこと

②これからがんばりたいこと

# 「認めること」に 働き掛ける継続的活動

よりよい話し合い活動を行うためには、お互いに認め合う態度を育むことが大切です。そのためには、友達の意見を認める態度を身に付けることが大切です。では、友達の意見を認める態度を身に付けられるようにするためには、どのような働き掛けをするとよいでしょう。

ここでは、多くの学校で行われている「よいところ探し」を、一工夫して提案します。「よいところ探し」は、「聴き手」役をつくり、札を挙げて意思表示する活動を取り入れましょう。さらに、3人一組で行い、一人一人の役割をはっきりさせましょう。

この手立てを取り入れるためには、活動の進め方を知り、教材などを準備する必要があります。こうした、実践に向けて必要となる資料が、まるごと用意してあります。

早速、次のページを見てみましょう。



この活動には、次のよさがあります。

## よさ1 短い時間でもみんなが主役になる！

「話す人」「よいところを見つけてもらう人」「話を聴く人」と、役割を明確にするから、みんなが主体的に取り組むことができます。

## よさ2 友達の意見を受け入れることができる！

聴き手が札を挙げて意思表示することで、話の内容を認めるという意識に働き掛けるから、友達を認める態度を育むことができます。

## よさ3 活動を通してみんながうれしくなる！

友達の話を肯定的に受け止めたり、よいところを見付けたりすることで、みんなが気持ちよく活動できます。

手立て②  
「認めること」

# 教材の使い方

|             | 教材名                | いつ使う？ | どのように使う？  | 用紙サイズ   |
|-------------|--------------------|-------|---|---|
| 進<br>め<br>方 | 短学活の進め方<br>18 ページ  | 事 前   | 短学活をどのように行うかが分かります。<br>事前に活動の流れや使用教材を確認しておきましょう。  | A 4   |
| 教<br>材      | 意思表示札<br>19 ページ    | 活動中   | カラー印刷し、ラミネートして使うとよいでしょう。<br>切り取った後、割り箸などの持ち手を挟むようにして、「納得」と「発見」の札を貼り合わせて使います。              | A 4<br> |
|             | 話し手カード<br>20 ページ   | 活動中   | 話し手の児童に持たせます。<br>机の引き出しに入るサイズに印刷し、ラミネートしておくといよいでしょう。                                      | B 5   |
|             | 〇〇さんカード<br>21 ページ  | 活動中   | よいところを見つけてもらう児童に持たせます。<br>机の引き出しに入るサイズに印刷し、ラミネートしておくといよいでしょう。<br>※学級で統一した呼び名をつけると盛り上がります。 | B 5   |
|             | 教室掲示用カード<br>22 ページ | 常 時   | 大きめに印刷し、教室内に掲示しておきましょう。   | A 3   |
|             | 振り返りシート<br>23 ページ  | 定 期   | 二週間に一度くらいのペースで、自分の活動の振り返りとして使います。   | A 4 半分  |

# 学級活動(2)、どうやるの？

ここでは、他者の意見を認める態度を身に付けるために、短学活の時間において、年間を通した継続的な活動である「よいところ探し」を行います。

## 1 ねらい

聴き手が、話し手の意見を自分事として聴きながら、その内容について「納得」か「発見」のいずれに近いか意思表示を行うことで、他者の意見を認める態度を身に付ける。

## 2 活動内容

帰りの会において、「話す人」「よいところを見付けてもらう人」「話を聴く人」の三つの役割を分担しながら、「よいところ探し」を行う。

「話す人」が友達のよいところを探して伝える場面を設け、「話を聴く人」は、話す内容を認めたことを表す手段として、「納得」あるいは「発見」の札を挙げ、認めたことについて発言する。児童は3名程度の小グループに分けて活動し、三つの役割は、毎日交代しながら行う。また、定期的に小集団を入れ替えながら、継続して活動する。

さらに、二週間に一回程度、認める態度について自らの活動を振り返る機会を設ける。

## 3 活動形態

(1) 「話す人」「よいところを見付けてもらう人」「話を聴く人」のグループ（3名程度）を編成する。

(2) 「話す人」は、「よいところを見付けてもらう人」のよいところや頑張っているところを見付け、話をする。

「〇〇くんは、給食の時間に当番ではないのに  
ストロー配りを手伝っていたよ。」

(3) 「話を聴く人」は、その内容について「納得」「発見」のいずれに近いか意思表示を行う。

「そうだね。ぼくも見てたよ。」【納得】

「そうだったんだ。それは、えらいな。」【発見】

(4) 「話す人」「よいところを見付けてもらう人」「話を聴く人」は、毎日役割を変えながら、継続して活動する。



## 4 用意するもの



意思表示札



話し手さんカード



〇〇さんカード



教室掲示用

※「よいところを見付けてもらう人」の呼び方は、自由に考えてみてください。

(例：キラキラさん、ワクワクさん、ニコニコさん)

発見 はっけん

発見 はっけん

発見 はっけん

納得 なっせく

納得 なっせく

納得 なっせく

友だちの  
よいところや  
がんばりを  
見つけて話そう♪



今日の  
話し手さん

どんな  
よいところを  
見つけて  
もらえるかな？



今日の

\_\_\_\_\_  
さん

# よいところ探し

自分の気持ちを  
あらわそう

納な得とく

そうだね!  
そう思うよ!



そうか!  
そうなんだ!

発は見けん

## 振り返りシート

年 番 名前

○この2週間の「よいところ探し」について振り返ろう。

①【納得(なっとく)】の札<sup>ふだ</sup>をあげた時の話を、一つ書きましょう。【発見(はっけん)】の札<sup>ふだ</sup>をあげた時の話を、一つ書きましょう。

②「よいところ探し」をして、気付いたことは何ですか。

## 振り返りシート

年 番 名前

○この2週間の「よいところ探し」について振り返ろう。

①【納得(なっとく)】の札<sup>ふだ</sup>をあげた時の話を、一つ書きましょう。【発見(はっけん)】の札<sup>ふだ</sup>をあげた時の話を、一つ書きましょう。

②「よいところ探し」をして、気付いたことは何ですか。

## 手立て③

# 「自覚すること」に働き掛ける振り返り活動

よりよい話し合い活動を行うためには、根拠に基づき思考・判断しながら話し合いを行うことが大切です。そのためには、話し合いの中でどのようなよさがあったのかを児童自身が自覚し、そのよさを次の話し合い活動に生かせるように支援しましょう。

そのために重要なのが振り返り活動です。さらに、気付かなかったよさに気付いたり、自覚を強めたりするために外部評価をして、教師がよさを称賛することです。

このような振り返り活動と称賛を行うためには、よさのある話し合い活動が行われている必要もあります。そのために必要なものが、話し合い活動を支える様々な教材です。

この手立てを実践していくために必要となる資料が、まると用意してあります。

早速、次のページを見てみましょう。



この活動には、次のよさがあります。

### よさ1 成功体験の自覚を積み重ねることができる！

話し合いについての自己評価と、先生からの称賛によって、話し合い活動や自分の活動を成功体験として自覚することができます。

### よさ2 根拠に基づいて判断するようになる！

成功体験の積み重ねで、よりよい話し合いを繰り返すことになり、根拠に基づいて話し合うことのよさを認識することができます。

## 手立て③

## 「自覚すること」

## 教材の使い方

|               | 教材名                            | いつ使う？ | どのように使う？   | 用紙サイズ       |
|---------------|--------------------------------|-------|--|-------------|
| 進め方           | 話し合い活動の進め方<br>26 ページ           | 事前    | 学級活動(1)をどのように行うかが分かります。<br>事前に活動の流れや使用教材を確認しておきましょう。                         | A 4         |
|               | 計画委員会<br>ステップアップ表<br>27 ページ    | 事前    | 実態に合わせて無理なく計画委員に取り組めるように、仕事内容が段階的に示してあります。                                   | A 4         |
| 教材<br>(事前の活動) | 話し合いのルール<br>と発言の仕方<br>28 ページ   | 事前    | 事前指導の際に使います。<br>児童全員に配付し、学級活動ファイルに貼らせます。                                     | A 4         |
|               | 話し合いのやくわり<br>29 ページ            | 事前    | 事前指導の際に使います。<br>児童全員に配付し、学級活動ファイルに貼らせます。                                     | A 4         |
|               | 提案カード<br>30 ページ                | 事前    | 増し刷りして切り分け、提案ボックスと一緒に置いておきます。  | A 4<br>切り分け |
|               | 活動計画表<br>31 ページ                | 事前    | 計画委員が話し合いに向けて準備する際に使います。<br>増し刷りしておくとう便利です。                                  | A 4         |
|               | 話し合い進行表<br>32 ページ              | 事前    | 計画委員が話し合いに向けて準備する際に使います。<br>増し刷りしておくとう便利です。                                  | A 4         |
| 教材<br>(本時の活動) | 司会の手引き<br>33 ページ               | 本時    | 話し合い活動の際、司会の児童が見られるようにしておきます。<br>ラミネートしておくとう便利です。                            | A 4         |
|               | 黒板掲示用教材<br>34・35・36 ページ        | 本時    | カラー印刷してラミネートし、黒板に掲示して使います。   | A 4<br>切り分け |
|               | 発言ガイドシート<br>37・38 ページ          | 本時    | ラミネートして切り分け、黒板上部などに掲示して使います。   | A 3<br>切り分け |
|               | 話し合いシート<br>なっとくメモ<br>39・40 ページ | 本時    | 「話し合いシート」と「なっとくメモ」を並べて、印刷します。<br>話し合い活動前に児童に配付して、計画委員からの提案や自分の意見などを書かせておきます。 | 並べて<br>B 4  |

# 学級活動(1)、とうやるの？

## 1 話し合い活動を始める前に

|                 |   |   |
|-----------------|---|---|
| 学級活動<br>ファイルづくり | <ul style="list-style-type: none"> <li>①A4フラットファイルを用意する。</li> <li>②教材「話し合いのルールと発言の仕方」と教材「話し合いのやくわり」を配付する。</li> <li>③ファイル表紙の裏側とファイル裏表紙の裏側にそれぞれ貼り付け、いつでも見られるようにする。</li> </ul> |  |
| 話し合いの<br>進め方を確認 | ○話し合い活動をどのように進めていくのか、教材の説明も交えて話をしておきましょう。   |   |

プリント貼付例

## 2 話し合い活動の流れ

|         |  |   |
|---------|--|---|
| 議題集め    | 議題の集め方 <ul style="list-style-type: none"> <li>①提案ボックスと提案シートを用意する。</li> <li>②朝の会や帰りの会で話題になったものから。</li> <li>③学級日誌の内容から。</li> <li>④先生の提案から。</li> </ul>  |  |
| 話し合いの準備 | <ul style="list-style-type: none"> <li>①計画委員の役割を決めましょう。<br/>教材「話し合いのやくわり」を参考にしてください。</li> <li>②計画委員は、「活動計画表」と「話し合い進行表」を使いながら、話し合う内容を決めましょう。</li> <li>③計画委員は、議題や話し合いのめあてを提案しましょう。<br/>「話し合いシート」も配付し、自分の意見を考え、おいてもらいましょう。</li> <li>④計画委員は、話し合い前に意見をまとめて、短冊などに書いておくと、話し合いがスムーズに始められます。</li> </ul> |   |
| 話し合い活動  | <ul style="list-style-type: none"> <li>①司会の子は、「話し合い進行表」と「司会の手引き」を活用して、話し合いを進めましょう。</li> <li>②「出し合う」「くらべ合う」「まとめる(決める)」の流れを意識して、みんなで合意形成を図れるようにしましょう。</li> <li>③話し合いの最後には、話し合い全体や自分の活動など、できたことを振り返る時間をつくりましょう。</li> <li>④先生は、振り返りに対して頑張りや達成感を認めてあげるようなコメントを返してあげましょう。</li> </ul>                 |   |

黒板掲示例

※話し合い活動を進めるには、文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センターから発行されている「みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動」も参考にしてください。

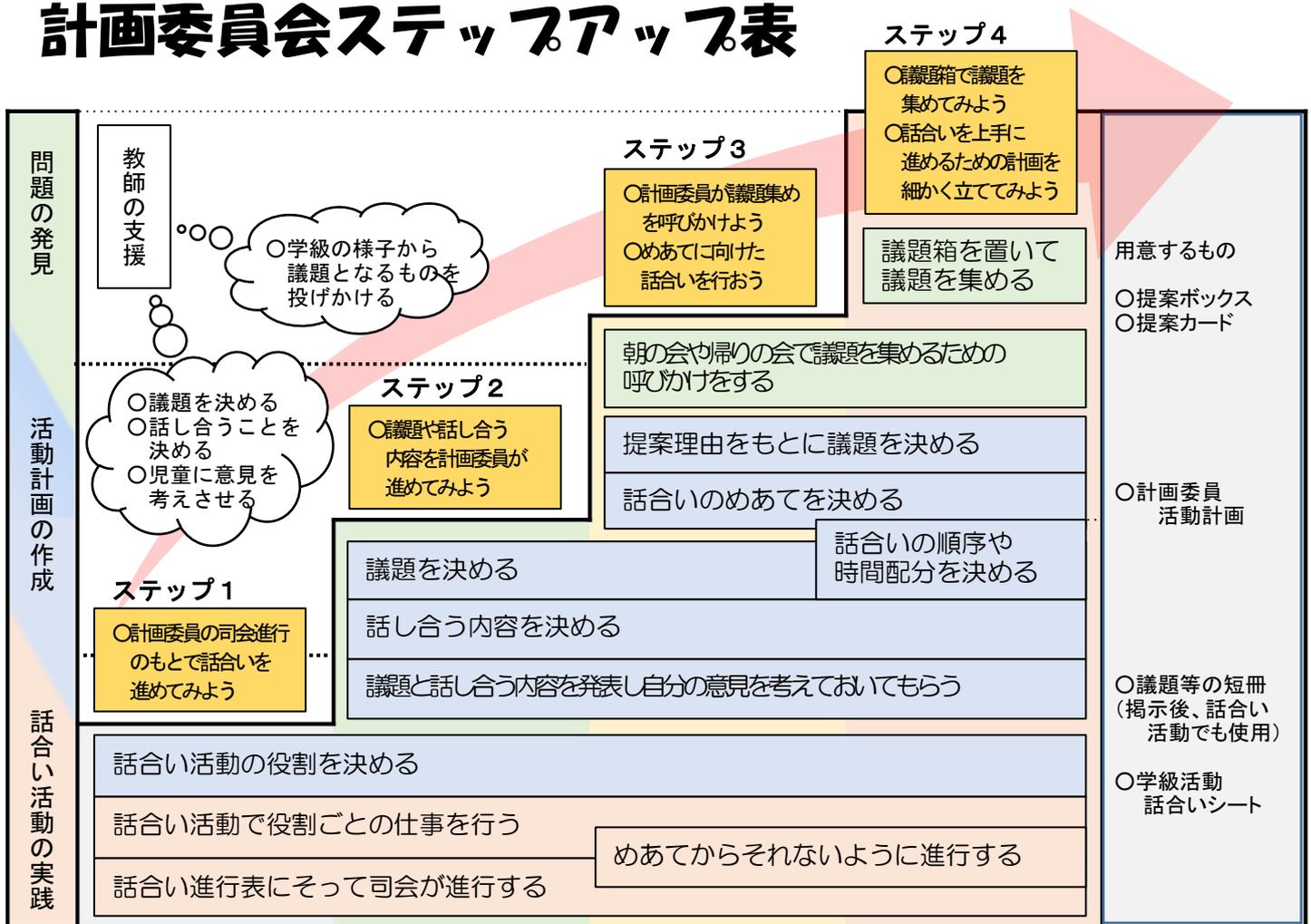
# 計画委員、どうやるの？

「話し合い活動」を効果的、効率的に進めていくためには、児童が輪番制で行う計画委員会を組織して、話し合いに向けた準備や司会、記録等を担当するといった工夫が必要であると、新学習指導要領にも示されています。

そこで、「計画委員会ステップアップ表」を作成しました。計画委員の仕事内容や先生から働き掛ける内容によって、ステップ1からステップ4まで段階的に示してあります。実態を踏まえて無理なく計画委員に取り組めるようにし、学級活動の時間を繰り返す中で、一つ上のステップを目指しましょう。児童の実態に合わせて、学校全体での取り組みにお役立てください。

まずは、ステップ1 計画委員の司会進行のもとで、話し合い活動を行ってみましょう。

## 計画委員会ステップアップ表



## 【話し合いのルール】

- 話し合いでは、少ない意見も大切に、みんながなっとくできる意見に決められるようにしよう。
- 話し合うときは、友だちをこうげきしたり、話し合いの進行をさまたげたりしないようにしよう。
- 自分の意見を言うときは、司会さんにさされてから発表しよう。
- 意見を言うときは、自分の考えに理由もそえて言えるようにしよう。
- 意見を言うときは、話し合いのめあてからはずれないようにしよう。
- 友だちの意見は、最後までしっかり聴くようにしよう。

## 【こんな言い方できるといいね】

| こんなとき       | こんな言い方  |
|-------------|---|
| 意見を言うとき     | 「ぼく（わたし）は、・・・だと思います。理由は、・・・だからです。」                                    |
| 賛成するとき      | 「ぼく（わたし）は、〇〇さんの意見に賛成です。<br>理由は、・・・だからです。」                             |
| 反対するとき      | 「ぼく（わたし）は、〇〇さんの考えよりも・・・という意見がいいと思います。理由は、・・・だからです。」                   |
| 付け足すとき      | 「ぼく（わたし）は、〇〇さんの意見に・・・を付け足します。」<br>「ぼく（わたし）は、〇〇さんが言ったように、・・・がいいと思います。」 |
| まとめるとき      | 「〇〇さんの意見と△△さんの意見をまとめて、・・・がいいと思います。」                                   |
| 助けるとき       | 「ぼく（わたし）は、〇〇さんの意見は、・・・ということだと思います。」                                   |
| めあてをもとにしたとき | 「めあてを考えると、・・・という意見がいいと思います。<br>理由は、・・・だからです。」                         |
| 質問するとき      | 「〇〇さんに質問です。・・・とは、どういうことですか。」  |
| 聞き返すとき      | 「すみませんが、もう一度言ってください。」   |

## 話合いのやくわり

### 司会さん

1. 計画にそって話合いを進める  
※「話合い進行表」を確認しながら話合いを進めていこう
2. 同じ人ばかりにならないよう発言する人を指名する  
※副司会さんと協力しながら、たくさんの人の意見を聴こう
3. 出された意見を整理する  
※「司会の手引き」を参考にしながら、質問や付け足しなどの確認をしよう
4. 出された意見をまとめ、みんなで決める  
※「話合い進行表」と「司会の手引き」を参考に、集団決定していこう



### 副司会さん

1. 時間や流れを見ながら話合いを進めていく  
※司会さんに伝えよう 「他の意見についての賛成・反対も聞いてみよう」
2. 名簿や座席表をつかって発言した人を記録する  
※はじめて手をあげた人や、まだ発言していない人を司会さんに教えてあげよう

### 黒板書記さん

1. はじめに話し合うことを書いておく  
※議題、提案理由、話合いのめあてなどを、学級会が始まる前に黒板に書いておこう
2. 出された意見を黒板に整理して書く  
※話合いで「問題になっていること」「おもな意見」をかんとんにまとめて書く  
※賛成や反対を区別するための方法
  - ・賛成意見に○、反対意見に●のような書き方
  - ・賛成と反対をマグネットをつかって区別するやり方
3. 短冊や画用紙をつかう  
※話合いの内容を短冊や画用紙に書いておき、自由に動かしながらつかう

### ノート書記さん

1. 決まったことをノートに記録する
2. 最後に決まったことをみんなに伝える
3. 議題の提案理由を話す（必要であれば）



|                                |   |   |     |
|--------------------------------|---|---|-----|
| てい あん<br>提 案 カ ー ド             | 月 | 日 | 名 前 |
| てい あん<br>提案したいこと（話し合いたいこと）     |   |   |     |
| <input type="text"/>           |   |   |     |
| てい あん り ゆ う<br>提案理由（話し合いたい理由）  |   |   |     |
| <hr/>                          |   |   |     |
| <hr/>                          |   |   |     |
| _____さん。てい あん<br>提案してくれてありがとう。 |   |   |     |

|                                |   |   |     |
|--------------------------------|---|---|-----|
| てい あん<br>提 案 カ ー ド             | 月 | 日 | 名 前 |
| てい あん<br>提案したいこと（話し合いたいこと）     |   |   |     |
| <input type="text"/>           |   |   |     |
| てい あん り ゆ う<br>提案理由（話し合いたい理由）  |   |   |     |
| <hr/>                          |   |   |     |
| <hr/>                          |   |   |     |
| _____さん。てい あん<br>提案してくれてありがとう。 |   |   |     |

|                                |   |   |     |
|--------------------------------|---|---|-----|
| てい あん<br>提 案 カ ー ド             | 月 | 日 | 名 前 |
| てい あん<br>提案したいこと（話し合いたいこと）     |   |   |     |
| <input type="text"/>           |   |   |     |
| てい あん り ゆ う<br>提案理由（話し合いたい理由）  |   |   |     |
| <hr/>                          |   |   |     |
| <hr/>                          |   |   |     |
| _____さん。てい あん<br>提案してくれてありがとう。 |   |   |     |

## 【学級活動 活動計画表】

年 番 名 前

| 話 合 い 活 動 の 計 画 |   | 月 日 ( 曜日)      |
|-----------------|---|----------------|
| 議 題             |   |                |
| 提案理由            |   |                |
| 司 会             | 副司会   |                |
| 黒板書記            | ノート書記   |                |
| 話合いの<br>めあて     |   |                |
| 時間              | 話合いの順序  | 話合いの内容・気をつけること |
|                 | 1 はじめの言葉<br>2 計画委員の紹介<br>3 議題の確認<br>4 提案理由の説明<br>5 話合いのめあての確認<br>6 話合い<br><br>7 決まったことの確認<br>8 振り返りの時間<br>9 先生の話<br>10 終わりの言葉 |                |

## 【学級活動 話し合い進行表】

月 日（ 曜日）

| 副司会の言葉  | 司会の言葉   |
|---|---|
| 1 はじめの言葉  | ○「これから、学級活動をはじめます。注目、礼。」  |
| 2 計画委員の紹介   | ①「司会の～です。」 ②「副司会の～です。」 ③「黒板書記の～です。」<br>④「ノート書記の～です。」 ①「どうぞ、よろしくお願いします。」   |
| 3 議題の確認   | ○「今日の議題は、<br>〔 〕です。」  |
| 4 提案理由の説明   | ○「この議題を出した理由を、～さんから説明してもらいます。お願いします。」<br>※ノート書記や議題提案者が、提案理由を説明する。<br>○「～さん、ありがとうございました。」  |
| 5 話し合いの<br>めあての確認                                       | ○「今日の話し合いのめあては、<br>〔 〕です。」<br>○「話し合いのやくそくは、<br>①相手の意見をさいごまでしっかり聴きましょう<br>②みんなのことを考えて、自分の意見を進んで発表しましょう<br>③意見をまとめるときは、なっとくシートをつかいましょう<br>このことをわすれずに、話し合いを進めましょう。」  |
| 6 話し合い<br><br>①出し合う<br><br>②くらべ合う<br><br>③まとめる<br>(決める) | ○「話し合うことは、<br>〔 〕です。」<br>○「自分の意見とその理由を発表してください。」<br><br>○「出された意見について質問はありますか。」<br>○「出された意見について賛成や反対の意見はありますか。」<br><br>○「それではなっとくシートを出してください。」<br>○「なっとくシートを見ながら意見をまとめていきます。<br>時間は～分間です。なっとくメモ用紙に自分の考えを書いてください。」<br><br>○「まとめた意見を発表してください。」<br>○「出された意見について賛成や反対の意見を発表してください。」<br><br>○「この意見の中から、決定していきます。」 |
| 7 決まったこと<br>の確認   | ○「今日の話し合いで決まったことを、ノート書記の～さんに発表してもらいます。」   |
| 8 振り返りの時間   | ○「話し合いシートに決まったことを書いて、話し合いの振り返りもしましょう。」  |
| 9 先生の話  | ○「話し合いのまとめをします。先生、お願いします。」  |
| 10 終わりの言葉   | ○「これで、学級活動を終わりにします。注目、礼。」   |

※司会の手引きを  
見ながら進めて  
みよう

# 司会の手引き



## 【意見が出ないとき】

- 「まわりの人と～分間話し合ってみてください。」
- 「意見が出ないようなので、こちらから指名させていただきます。」

## 【同じような意見が出たとき】

- 「～さんの意見と～さんの意見をまとめて、・・・という意見にしていいたいですか。」

## 【話し合っている内容がずれているとき】

- 「今日の話合いのめあては・・・です。そのことをよく考えて意見を出してください。」

## 【質問が出たとき】

- 「意見を出した～さん、説明をお願いします。」  
↓ 説明が終わったら  
「ありがとうございました。質問してくれた～さん、いいですか。」

## 【意見が出つくしたとき】

- 「これまでの意見で、同じものとしてまとめられるものはありますか。」
- 「今までの意見をまとめると、□□と△△です。  
ほかに意見がなければ、この中から決定したいと思いますが、いいですか。」

## 【時間通りに進まないとき】

- 「話合いの時間が決められているので、ここで意見をまとめてみます。」

## 【一つの意見が、多くの人から賛成を集めたとき】

- 「・・・について、反対がなければこの意見に決めていいですか。」

## 【意見が多く分かれているとき】

- 「・・・については意見が分かれているので、  
みんながなっとくできる意見を発表できる人はいませんか。」  
↓ 「～さんの意見をきいて、反対の人はいますか。」  
↓ 「賛成の意見が多くなったので、これで決めていいですか。」

## 【どうしても集団決定できないとき】

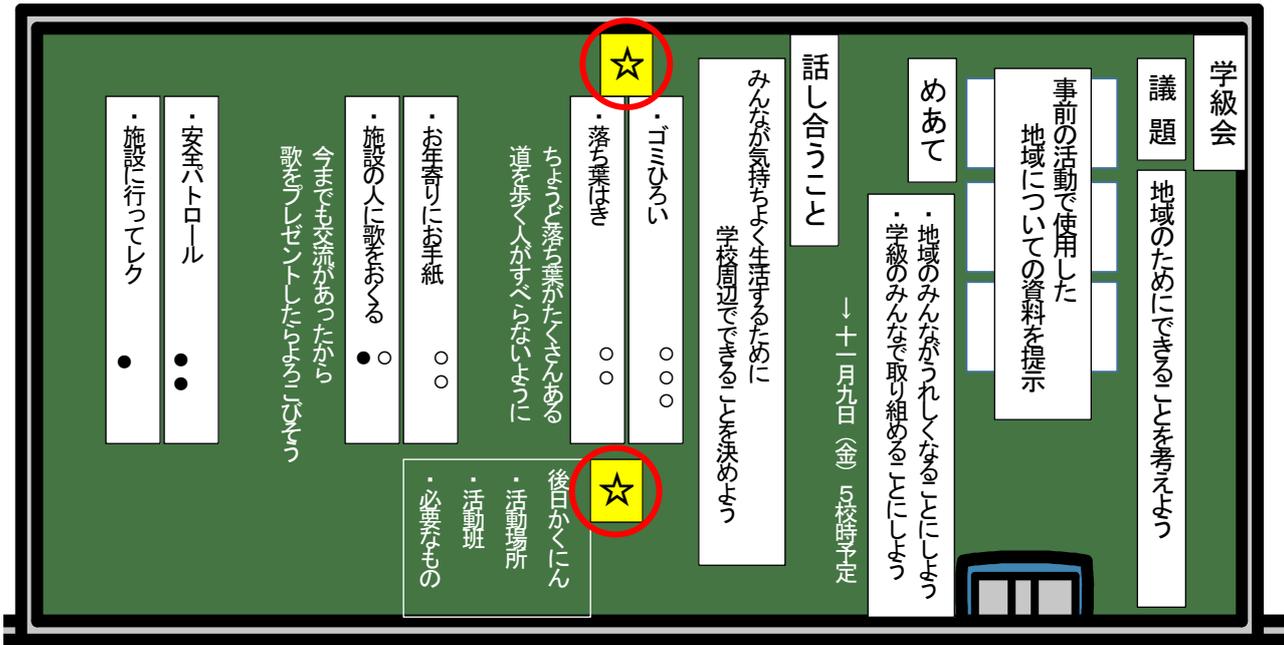
- 「ここまでは決まりましたが、ここからは多数決で決めてもいいですか。」  
↓ 「・・・に賛成の人は手をあげてください。」  
↓ 「・・・に賛成が多かったので、これで決めていいですか。」

め  
あ  
る

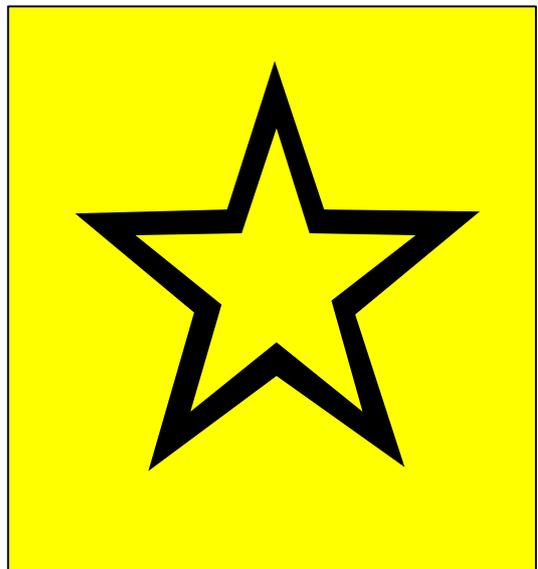
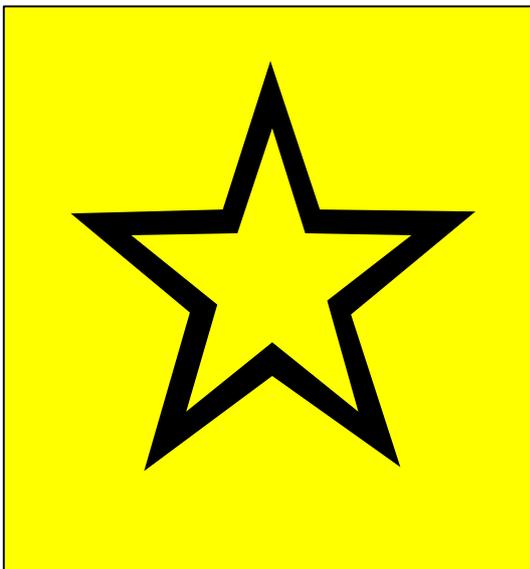
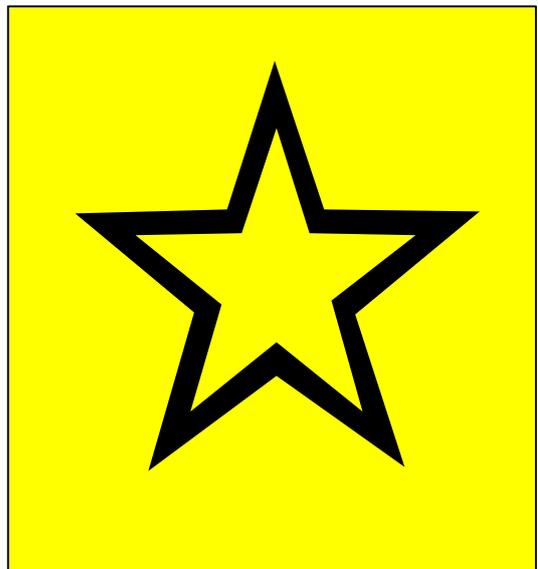
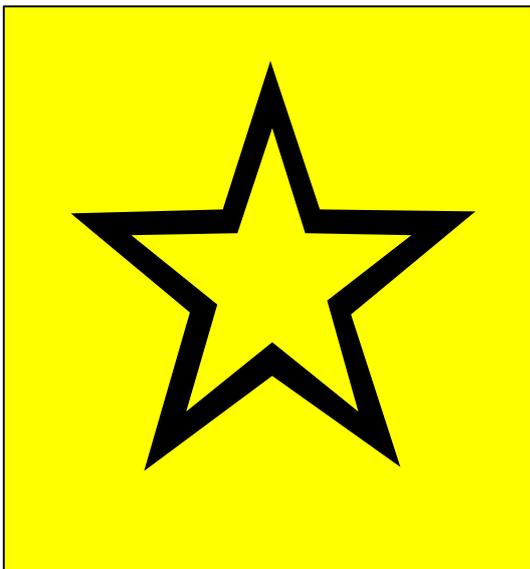
議  
題  
（  
ぎ  
だ  
い  
）

学  
級  
令

話  
し  
合  
い  
し  
や



※決定した意見が分かるように黒板に貼ります。



～です。理由は……だからです。

～に賛成です。理由は……だからです。

～おれ、……という意見がよいと思います。

○○○さんの意見につけたします。

△△と□□をまとめて・・・がイルと思います。

○○さんの意見は、・・・だと思います。

めあてを考えると、・・・という意見がイルと思います。

○○さんに質問です。・・・はどういうことですか。

## 【学級活動 話し合いシート】

年 番 名 前 \_\_\_\_\_

## ◇話し合いに向けて自分の考えをもとう

|              |                  |  |            |
|--------------|------------------|--|------------|
| き<br>議<br>題  |                  |  | 話し合う日      |
|              |                  |  | 月 日<br>よう日 |
| 話し合いの<br>めあて |                  |  |            |
| 話し合うこと       | 自分の意見（理由も書いておこう） |  |            |
|              | 意見               |  |            |
|              | 理由               |  |            |
|              |                  |  |            |
|              |                  |  |            |

## ◇決まったことを書こう

|                  |
|------------------|
| 決まったこと           |
| なっとくした理由を書きましょう。 |

## ◇話し合い活動を振り返ろう

|   |
|---|
| <p>①今日の話合いを振り返って、当てはまるものに○をつけましょう。（いくつでもオッケー）</p> <p>( ) 自分の意見に理由がつけられた      ( ) みんなでうまく意見がまとめられた</p> <p>( ) 自分は、話し合いのめあてを意識して話し合うことができた</p> <p>( ) 自分は、少ない意見も大切にして話し合うことができた</p> <p>②自分に近い意見や考えを出したのはだれでしたか。</p> <p style="text-align: right;">→ _____</p> <p>③自分とはちがった意見や考えを出したのはだれでしたか。</p> <p style="text-align: right;">→ _____</p> <p>④今日の話合いでがんばれたことを一つ書きましょう。</p> |
|   |
|   |

## 『なっとくメモ』

※教材（本時の活動）⑦【学級活動 話し合いシート】と並べて印刷をします。  
この「なっとくメモ」については、以下の資料を参照してください。

群馬県総合教育センター長期研修員研究報告書

平成24年度長期研修員 関 喜史 先生

特別活動

『互いを認め合い、よりよい人間関係を築こうとする態度の育成  
—学級活動(1)における「集団決定の仕方」と「事後の活動」の工夫を通して—』

資料編 話し合い活動資料14 「なっとくメモ用紙」

| 『なっとくメモ用紙』 |  | 年 組 名前  | 考えた意見 |
|------------|--|---|-------|
| な          | 【なみよしのわざ】<br>意見のなか(中間)を<br>考えてまとめよう。         |    |       |
|            |  |   |       |
| っ          | 【つなげるのわざ】<br>意見をつなげてま<br>とめよう。               |  |       |
|            |  |   |       |
| と          | 【どれかのわざ】<br>意見のどれかを選<br>ぼう。                  |  |       |
|            |  |   |       |
| く          | 【くらべるのわざ】<br>意見を比べて、みん<br>なが納得できるよ<br>うにしよう。 |  |       |
|            |  |   |       |